

令和6年11月24日(日)施行

第216回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	65,000,000	資本金	65,000,000
	創立費	400,000	現金	400,000
2	為替差損	70,000	外貨預金	70,000
3	買掛金	160,000	電子記録債務	160,000
4	支払リース料	150,000	当座預金	150,000
5	建物	1,000,000	未払金	1,360,000
	修繕引当金	240,000		
	修繕費	120,000		
6	繰越利益剰余金	4,015,000	未払配当金	3,250,000
			利益準備金	325,000
			別途積立金	440,000
7	未払法人税等	217,000	納税準備預金	217,000

第2問

期末買掛金	期末純資産(資本)	売上総利益	当期純利益
¥ 798,000	¥ 1,046,000	¥ 987,000	¥ 302,000

第3問

【問1】

A商品の次月繰越高	
¥	53,112

【問2】

総勘定元帳

売掛金

10/ 1 前月繰越	224,730	
14	303,860	

得意先(売掛金)元帳

徳島商店

10/ 1 前月繰越	105,640	
14	303,860	

仕入先(買掛金)元帳

香川商店

買掛金		
	10/ 1 前月繰越	315,438
	7	275,852
	20	128,632

仕入先(買掛金)元帳		
	10/ 1 前月繰越	163,981
	20	128,632

売上

	10/14	303,860
	26	219,780

第4問

1	2	3
エ	イ	イ

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	213,000		2,000	32,000			183,000	
当 座 預 金	251,000						251,000	
受 取 手 形	279,000						279,000	
売 掛 金	356,000						356,000	
貸 倒 引 当 金		2,500		10,200				12,700
売買目的有価証券	242,000		6,000				248,000	
繰 越 商 品	215,000		226,000	215,000			226,000	
仮 払 金	30,000			30,000				
仮払法人税等	12,000			12,000				
備 品	600,000						600,000	
備品減価償却累計額		375,000		75,000				450,000
買 掛 金		407,000						407,000
借 入 金		250,000						250,000
資 本 金		800,000						800,000
資 本 準 備 金		50,000						50,000
利 益 準 備 金		56,000						56,000
繰越利益剰余金		7,800						7,800
売 上		4,453,900				4,453,900		
受 取 手 数 料		194,000	2,000			192,000		
仕 入	3,251,200		215,000	226,000	3,240,200			
給 料	446,000		34,000		480,000			
旅 費 交 通 費	127,000		28,000		155,000			
保 険 料	145,000		29,000		174,000			
消 耗 品 費	33,000			5,000	28,000			
支 払 家 賃	381,000				381,000			
支 払 利 息	15,000			3,000	12,000			
	6,596,200	6,596,200						
雑 (損)			3,000		3,000			
貸倒引当金繰入			10,200		10,200			
減 価 償 却 費			75,000		75,000			
有価証券運用損益				6,000		6,000		
(消 耗 品)			5,000				5,000	
(前 受) 手 数 料				2,000				2,000
(未 払) 給 料				34,000				34,000
(前 払) 利 息			3,000				3,000	
法 人 税 等			26,400		26,400			
(未 払) 法 人 税 等				14,400				14,400
当期純(利益)					67,100			67,100
			664,600	664,600	4,651,900	4,651,900	2,151,000	2,151,000

令和6年11月24日（日）施行

第216回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 会社設立に際し、株式を発行した場合には、資本金勘定を用いて処理をする。なお、問題文中に、資本金の計上額は、原則的な処理方法による。とあるため払込金の全額を資本金勘定で処理をする。

また、会社設立のための諸費用は、創立費勘定を用いて処理をする。

資本金の金額 $25,000 \text{ 株} \times \text{¥}2,600 = \text{¥}65,000,000$

2. 外貨預金の金額は、決算日の為替相場の金額に換算する必要がある。帳簿価額と決算日の為替相場の金額に差額が生じた場合には、為替差益または為替差損として処理をする。

帳簿価額 $\text{¥}2,730,000$

決算日の為替相場の金額 $\$17,500 \times \text{¥}152 = \text{¥}2,660,000$

差額 $\text{¥}2,730,000 - \text{¥}2,660,000 = \text{¥}70,000$ 為替差損となる。

3. 買掛金について、取引銀行を通じて電子債権記録機関に発生記録を行った場合には、買掛金勘定から電子記録債務勘定への振替えの処理をする。

4. リース取引には、取引条件によって、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に分類される。

オペレーティング・リース取引の処理方法は、リース料の支払時に、支払リース料勘定（費用）を用いて処理をする。

5. 建物の改良と修繕を行った場合には、改良のための支出は固定資産の増加として、建物勘定の増加の処理をする。修繕のための支出は修繕引当金が設定されているため、先に修繕引当金を充当し、残額は修繕費勘定（費用）を用いて処理をする。

6. 株主総会において、繰越利益剰余金を配当および処分した場合には、繰越利益剰余金勘定を減少させ、配当金は未払配当金勘定、利益準備金は利益準備金勘定、別途積立金は別途積立金勘定を用いて処理をする。

7. 前期法人税等確定額の未払分は、未払法人税等勘定で処理されている。よって、納付した場合は未払法人税等勘定の減少の処理をする。また、納税準備預金から納付しているため、納税準備預金勘定の減少の処理をする。

第2問

(期首)

資産総額

現金・預金 ¥498,000 + 売掛金 ¥739,000 + 商品 ¥423,000 = ¥1,660,000

負債総額

買掛金 ¥843,000

純資産

資産総額 ¥1,660,000 - 負債総額 ¥843,000 = ¥817,000

(期末)

資産総額

現金・預金 ¥614,000 + 売掛金 ¥842,000 + 商品 ¥388,000 = ¥1,844,000

負債総額

買掛金 ¥ X

純資産

資産総額 ¥1,844,000 - 負債総額 ¥ X = ¥ ?

当期純利益

収益総額

純売上高 総売上高 ¥3,142,000 - 売上返品高 ¥235,000 = ¥2,907,000

純売上高を除く期間中の収益総額 ¥66,000

収益総額 純売上高 ¥2,907,000 + 純売上高を除く期間中の収益総額 ¥66,000 = ¥2,973,000

費用総額

純仕入高 総仕入高 ¥2,033,000 - 仕入返品高 ¥148,000 = ¥1,885,000

売上原価 期首商品 ¥423,000 + 純仕入高 ¥1,885,000 - 期末商品 ¥388,000 = ¥1,920,000

売上原価を除く期間中の費用総額 ¥751,000

費用総額 売上原価 ¥1,920,000 + 売上原価を除く期間中の費用総額 ¥751,000 = ¥2,671,000

当期純利益

収益総額 ¥2,973,000 - 費用総額 ¥2,671,000 = 当期純利益 ¥302,000

売上総利益

純売上高 ¥2,907,000 - 売上原価 ¥1,920,000 = 売上総利益 ¥987,000

期末純資産 (?)

期首純資産 ¥817,000 - 剰余金の現金配当額 ¥273,000 + 新株発行による払込額 ¥200,000

+ 当期純利益 ¥302,000 = 期末純資産 ¥1,046,000

期末買掛金 (X)

期末資産総額 ¥1,844,000 - 期末純資産 ¥1,046,000 + = 期末買掛金 ¥798,000

第3問

10月7日 仕入帳より

(借)	仕	入	275,852	(貸)	買掛金(愛媛)	275,852
-----	---	---	---------	-----	---------	---------

10月14日 売上帳より

(借)	売掛金(徳島)	303,860	(貸)	売	上	303,860
-----	---------	---------	-----	---	---	---------

10月20日 仕入帳より

(借)	仕	入	128,780	(貸)	買掛金(香川)	219,780
-----	---	---	---------	-----	---------	---------

10月26日 売上帳より

(借)	現	金	219,780	(貸)	売	上	219,780
-----	---	---	---------	-----	---	---	---------

A商品の商品有高帳(移動平均法)

商 品 有 高 帳 A 商 品

令和 6年	摘要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
10	1	前月繰越	16	2,365	37,840				16	2,365	37,840
	7	愛媛商店	88	2,053	180,664				104	2,101	218,504
	14	徳島商店				62	2,101	130,262	42	2,101	88,242
	20	香川商店	56	2,297	128,632				98	2,213	216,874
	26	高知商店				74	2,213	163,762	24	2,213	53,112
	31	次月繰越				24	2,213	53,112			
			160		347,136	160		347,136			
11	1	前月繰越	24	2,213	53,112				24	2,213	53,112

第4問

1. エ

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取利息	45,000	未収利息	45,000

前期末に見越していた利息の未収分の処理は

(借)	未収利息	45,000	(貸)	受取利息	45,000
-----	------	--------	-----	------	--------

上記の再振替えをした処理となるためエの取引と判断できる。

2. イ

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	100,000	受取手形	100,000

借方科目の仕入勘定は、三分法での商品の仕入を意味している。

貸方科目の受取手形勘定は、以前得意先等から受け取っていた約束手形を裏書譲渡したことを意味している。よって、イの取引と判断できる。

3. イ

借方科目	金額	貸方科目	金額
仮受消費税	2,350,000	仮払消費税	2,670,000
未収還付消費税	320,000		

借方科目の仮受消費税勘定、未収還付消費税勘定および貸方科目の仮払消費税勘定は、期末に消費税額を確定したことを意味している。仮払消費税の金額は¥2,670,000 仮受消費税の金額は¥2,350,000 差額¥320,000 が未収還付消費税の金額となる。

よって、イの取引と判断できる。

第5問

付記事項

仮払金の処理

(借) 現金	2,000	(貸) 仮払金	30,000
旅費交通費	28,000		

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高¥213,000+2,000（付記事項より）=¥215,000

実際有高¥183,000

差額 ¥215,000 - ¥183,000 = ¥32,000

実際有高に合わせるため、現金の帳簿残高を減少させる。

不一致の原因は、保険料の未記帳であるため¥29,000 保険料勘定を増加させる。

残額は原因が判明しなかったため、雑益勘定または雑損勘定を用いて処理をする。

(借) 保険料	29,000	(貸) 現金	32,000
雑損	3,000		

2. 売上原価の算定

(借) 仕入	215,000	(貸) 繰越商品	215,000
繰越商品	226,000	仕入	226,000

3. 貸倒引当金の見積もり

受取手形の期末残高¥279,000

売掛金の期末残高 ¥356,000

貸倒引当金の見積もりの金額

(¥279,000 + ¥356,000) × 2% = ¥12,700

貸倒引当金繰入額

¥12,700 - ¥2,500 = ¥10,200

(借) 貸倒引当金繰入	10,200	(貸) 貸倒引当金	10,200
-------------	--------	-----------	--------

4. 備品の減価償却費の計上

¥600,000 ÷ 8年 = ¥75,000

(借) 減価償却費	75,000	(貸) 備品減価償却累計額	75,000
-----------	--------	---------------	--------

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額 ¥242,000

評 価 額 ¥248,000

差 額 ¥248,000 - ¥242,000 = ¥6,000 (有価証券運用益となる)

(借)	売買目的有価証券	6,000	(貸)	有価証券運用損益	6,000
-----	----------	-------	-----	----------	-------

6. 消耗品の未使用高

(借)	消 耗 品	5,000	(貸)	消 耗 品 費	5,000
-----	-------	-------	-----	---------	-------

7. 手数料の前受高 (収益の繰り延べ)

(借)	受 取 手 数 料	2,000	(貸)	前 受 手 数 料	2,000
-----	-----------	-------	-----	-----------	-------

8. 給料の未払高の計上 (費用の見越し)

(借)	給 料	34,000	(貸)	未 払 給 料	34,000
-----	-----	--------	-----	---------	--------

9. 利息の前払高 (費用の繰り延べ)

(借)	前 払 利 息	3,000	(貸)	支 払 利 息	3,000
-----	---------	-------	-----	---------	-------

10. 未払法人税等

当期の課税所得 ¥88,000 × 30% = ¥26,400

(借)	法 人 税 等	26,400	(貸)	仮払法人税等	12,000
				未払法人税等	14,400